

## 45 狛江の「追分」 —右 渡し場道 左 江戸青山

歴史的資産



受賞者：なし  
推薦者：大久保 重信 さん

### 【推薦コメント】

伊豆美神社を背に東へ100メートルほど行くと道が左右に分かれる「追分」がある。仁王像を刻んだような小ぶりの石塔があり、その脇に石とスチールを組み合わせたモダンな標識がある。曰く「西府中道」「右 地藏尊、渡し場道 左 江戸青山、六郷道」。石塔には横に文政十三年〇月、正面下部に、西府中道や和泉村などの文字が見える。

はるか昔から人々の往来を無言で見つめてきた道。あたりの景観は変わっても道には何か語りかけるものがある。ここで足を止めまた先を急いだ旅人もあったろう。通るたびに古（いにしえ）の人々の営みに思いを馳せる狛江の小さな「いいところ」である。ちなみに背後の建物は「都環境局一般環境大気測定局」とある。

### 【講評】

像を刻んだ石塔、石を貫通させた標識による「追分」。ドリルのようなもので貫通させた石の切削面の仕上がりや錆びに強いステンレスを標識の材料に用いた心配りは、現代技術の一部や心使いをあらわしています。石塔と標識の組み合わせは道標の過去と現在、時の流れを感じさせます。道標が人々の往来を昔から見つめてきた道を今後とも見つめていくことを願うとともに、狛江の「追分」を「いいところ」として評価します。